

**JR東労組**  
**大宮**  
 2025年1月1日 第288号

〒330-0853 埼玉県さいたま市大宮区錦町427  
 電話 048-643-6655 FAX 048-631-1441  
 JR TEL 054-5844-5 JR FAX 054-5846  
 email: omiya-chihon@jreu-omiya.jp  
 発行人 川澄 新一 編集人 小宮 裕幸  
 (月1回発行/一部20円 組合員の購読は、組合費に含む)

JR東労組大宮地本の  
 ホームページは  
 ←こちらからアクセス

# 25JR総連春闘勝利!!

## あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さない!!

### 2本柱のたたかいを貫徹し「だまされず・あきらめず・仲間と共に」組織強化・拡大に向けて全組合員で奮闘しよう!



東日本旅客鉄道労働組合 大宮地方本部

### 新年の「あいさつ」

#### 川澄執行委員長

あけましておめでとうございませう。今年も大変な一年となりますが、組織の強化・拡大に向けて、共に奮闘しましょう!

いま私たちは、激動の時代を生きているといえます。昨年元旦に発生した能登半島地震をはじめ、地球沸騰化とも言われた猛暑やゲリラ豪雨、そして現在の大雪など、自然災害が続き地球環境は大きく変化しています。また世界各国で発生している戦争は終わる気配を見せず、いまでも多くの罪のない命が奪われています。そして、AIに代表される人工知能の進歩は、遠くない未来に機械が人間を超えるとも言われています。このように大きな変化を向かえる世界情勢の中で、私たちが何を考え行動していくのかが問われています。

今年には戦後80年の節目の年ですが、世界を見れば「自国防衛」を理由として、ドイツやデンマークでは徴兵制が復活しています。そのような流れの中で、日本も近隣諸国からの「自国防衛」という意識がつくられた先に何があるのか、私たちは見えておかなければなりません。

一方で、私たちが働く職場も大きく変化してきています。これまで支社で行っていた企画業務を現場の仕事を行いながら担い、一担務を極める働き方から複数担務を担うのが当たり前になってきています。今年、プロ野球パリーグで優勝したソフトバンクホークスの小久保監督は「プロとは目の前の仕事に対して情熱を燃やし、誇りとプライドをかけて自分の仕事をやり抜くということ。代えのきかない人材になること。」と開幕前に選手やコーチなど球団関係者を前に投げかけました。そしてシーズンに入り、主力選

手が怪我で離脱する中でも、その選手の代りの転換を図っていきます。

手は怪我で離脱する中でも、その選手の代わりではなく「替えのきかない己」として若手が奮起し、あのダントツのリーグ優勝につながったそうです。いま私たちの働き方をみれば「替えのきかない社員」として「誇りとプライド」をもって働いているでしょうか。逆に「誰でも替えのきく働き方」が求められる、私たちの意識もそうなるようになっていないでしょうか。これは効率性から見れば、企業としては良いのかもしれませんが、しかし安全性や人間性までもが効率化されるような施策には、私たちは反対しなければなりません。なぜなら、そのような職場では安全は守られず、モノのように扱われるからです。また、安全をトッププライオリティとする鉄道業にあつて、プロがなくなるという事で本当に良いのかも考えなければなりません。斜陽といわれる鉄道会社において、多くの施策を一気に進めている一部経営陣は「自分こそ替えのきかない存在」と自負しているのかわかりませんが、いま職場との意識は大きく開いてしまっていると言わざるを得ません。それは「高輪ゲートウェイシティ」の街開きを直前に控える中で、職場ではほとんど盛り上がり上がっていないのを見れば明確です。多くの施策が進められる変化の中だからこそ経営陣と職場との意思一致が重要になります。それ抜きには安全な鉄道の確立どころか、福知山線脱線事故を上回るような重大事故が発生してしまうのではないかと危惧します。JR東労組は、会社に対して言うべきことは言い、やるべきことはやって、堂々とたたかいを創りだしていきまう。

そして「25JR総連春闘」で、過去最高の働き度に見合う賃金を堂々と求めていきまう。また昨年は、春闘と同時議論であった期末手当においても「年間臨給」という考え方で良いのか、職場から議論を創り出し意識

の転換を図っていきます。宇都宮運輸区(当時)でミスをした乗務員に対して、本人が仕事に出てこれられなくなるまで行った懲罰的日勤教育や、大宮運輸区(当時)で、これまでの慣行が守られていたため休日出勤をしたが、納得がいかないで許可を得て帰宅した事象に対する不当処分と不当転勤、そしてこれを団体交渉で労働協約に基づいて議論しない会社の姿勢。また、不当労働行為を行ってもウソとゴマカシで逃げ回り、自分の間違いを一切反省しない姿勢など、あらゆるハラスメント・不当労働行為が職場では発生しています。これらの事象を絶対に許さず、このような会社姿勢に対して、職場からたたかい抜いていきます。そして、八王子で暴力を振るわれたにもかかわらず、嘘のストーリーで犯人扱いされてくる仲間の事象を、全組合員との対話を貫徹し明らかにして共にたたかいます。

昨年11月28日に、JR東海において「JRセントラル労組」が結成されJR総連の指導に従わず、自らの主張を繰り返す組織に混乱を発生させたJR東海労が除名となりました。私たちは、これらの事象の何が問題なのか、その事実を明確にし「JRセントラル労組の仲間と連帯して、組織強化に向けて取り組んでいきます。」

「25JR総連春闘勝利」と「あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さない」という2本の柱を春のたたかいで全組合員と貫徹し、大宮地本は今年も「だまされず・あきらめず・仲間と共に」JR東労組1万人組織と大宮地本1千人組織の実現を目指して、組織強化・拡大に向けて奮闘します。一つひとつの取り組みを、職場から「やりきる」こと、こだわり、取り組んでいきますように!

本年もよろしくお願ひします。



始	点
論	論

大宮地本は12月14

日全支部全分会代表者会を開催し、秋のたたかひの総括と2025春のたたかひの課題を意志一致した。総括では過半数代表者選挙のたたかひ、組織拡大に向けた実践、創意工夫した全組合員参加型の分会大会の開催、レクサークルを通じて仲間意識を強固にしてきた成果を確認した。また、一部管理者等による不当労働行為やハラスメント、不当処分・不当転勤に抗するたたかひは、大地申第20号「大宮運転区で発生した不

当処分・不当転勤撤回の緊急総決起集会」を開催し、8急申入れで6回の交渉を7ヶ月にわたり開催したが、対立を確認し終了している。交渉では関係する管理者の証言のみを採用した会社回答を繰り返す等、会社の不誠実な姿勢が露呈した。また大地申第11号「小金井運転区で発生した不当労働行為」、

大宮地本は12月21日、「パワハラ労災不支給を許さず、原瀬さんの職場復帰までともにたたかひを抜く」という旨の決議を行った。この間の団体交渉では日

程が決まらず、度々中断する事態等を見れば、2018年3月に会社が示した「今後の労使関係の基礎的条件」第1項の「労使間の諸問題は速やかに団体交渉における話し合いにより解決すること」から逸脱していると言わざるを得ない。大宮地本は12月21日、「パワハラ労災不支給を許さず、原瀬さんの職場復帰までともにたたかひを抜く」という旨の決議を行った。この間の団体交渉では日

会社から謝罪はない。また集会で弁護士からは「この会社が客観的に見ても異常な体質だ」と報告された。私たちはこの間のたたかいで、①長期の日勤教育は行われていない②組合員と共に運動を創り上げた③事象発生後、原因究明を行い、安全風土を再構築してきた。厚生労働省の

**『25JR 総連春闘勝利！』  
『あらゆるハラスメント・不当労働行為を許さない！』  
「抵抗とヒューマニズム」の  
精神で組織強化・拡大のたたかひを全組合員で創り出そう！**

会社から謝罪はない。また集会で弁護士からは「この会社が客観的に見ても異常な体質だ」と報告された。私たちはこの間のたたかいで、①長期の日勤教育は行われていない②組合員と共に運動を創り上げた③事象発生後、原因究明を行い、安全風土を再構築してきた。厚生労働省の

中央委員会で25春闘における賃上げ目標を決定した。ペアと定期昇給を合わせた賃上げ率は全体で5%以上としている。24春闘は平均賃上げ率が5.1%と33年ぶりの水準だが、大企業と中小の賃上げ率の差は拡大している。JR東労組大宮地本は、2025春のたたかひを職場から組合員と共に実践し、2月28日開催の春闘総決起集会に最大限の結束を目指し、職場から25春闘勝利に向けて仲間と共に奮闘する。

そのために、各級機関で創意工夫したたたかひを展開し、あらゆるハラスメントを許さず、「抵抗とヒューマニズム」の精神で組織強化・拡大のたたかひを全組合員で創り出そう。

## 浦和支部だより

浦和支部は12月の浦和統括センター発足に伴う過半数代表選のたたかひを職場の仲間と共にたたかひ抜いてきました。選挙では浦和統括センター乗務ユニットから立候補した山口哲広さんが過半数代表に選出されました。私たちは山口さんと共に、職場の仲間の声を集め、安全衛生委員会等での議論を通じて改善を求め、安全で安心して働ける職場づくりを行います。今回の結果は全職場の仲間の実践により勝ち取ることが出来ました。私たちはこの間、過半数代表者の意義について学び、安心して働ける職場を実現するために、働く者の立場で意見を述べる代表者の選出が重要である事を一致させてきました。

今後、職場環境や働き方が大きく変化する中、労働時間の課題等、安全衛生委員会の重要性はさらに高まり、職場の課題を解決する重要な手段にもなります。今回のたたかひの最大の成果は全組合員での実践です。このたたかひの成果を共有し、安心して働ける職場の実現に向けて今後も仲間と共に実践し、25春闘勝利に向けてたたかひましょう！



会議やミーティングを積み重ね、小さなことも一つひとつ議論し、認識を合わせてきました。大変なたたかひでしたが、皆で粘り強く実践を積み重ね、大きな成果を勝ち取



# 「12・21パワハラ労災不支給を許さず、原瀬さんの職場復帰までともにたたかい抜く総決起集会」開催！



12月21日、大宮地本は「パワハラ労災不支給を許さず、原瀬さんの職場復帰までともにたたかい抜く総決起集会」を開催し、80名を超える仲間が結集しました。

オープニングではこの間の宇都宮運輸区分会と原瀬さんのたたかいが上映され、会社の理不尽な対応に悔し涙を流す仲間もいました。また、パワハラ労災申請に対する労基署の不支給決定に対し、開示資料のほとんどが黒塗りされている事に改めて怒りと悔しさを覚えました。

集会には全地本の仲間が結集し、各地で同様の事態が発生している事が共有されました。また、たたかいを支えて頂いている弁護士から報告を頂き「この会社が客観的に見ても異常な体質である」との見解も示され、参加者からは会社への強い怒りや、たたかう決意が語られました。最後に各地本の仲間から届いた檄布・檄紙を宇都宮運輸区分会に手渡し、異常な経営姿勢を許さず原瀬さんを支え、共にたたかうことを全員で意思統一しました。また今回は、会社からの暴力行為と不当処分に対し、起ち上がった八王子の仲間にも参加して頂き、職場で取り組んだ檄を届け、連帯の輪が広がりました。

## 弁護士からのコメント(要旨)

※文責:情宣部

- 管理者が述べている「ハラスメントのつもりはなかった」「鼓舞するつもりだからハラスメントではない」は全く誤り。事実上のパワハラ容認。会社が行った絶対許せないような行為を容認した意味を持つ。
- 決定的なのは懲罰的な長期日勤教育を現実的に止めた事で、意義のあること。この現実を作れたのは、「会社の非人間的な労務管理を許さない!」と原瀬さんと共に組合の皆さんが協力して声を上げたから。
- 会社にブレーキをかける、社員への非人間的な管理を抑止するには、管理者が仲間に対し不合理なひどい対応をすれば断固たたかうという姿勢を見せる事が一番の防御策。
- 「管理者からパワハラを受けた」と言われたら、普通は被害を受けた社員にも話を聞く。厚労省の指針があり、「パワハラを受けた」と相談を受けた時の対応として書いてある。



全国の仲間から原瀬さんへの檄が宇都宮運輸区分会へ手渡されました！



八王子地本の仲間へ檄が手渡されました！

## 新年の「あいさつ」

美世志会代表 山田 知

美世志会を代表し仲間の皆さんへ新年のあいさつを致します。昨年死刑判決を受けた袴田巖さんに対する再審で無罪判決が確定しました。また、検察の起訴取消により「えん罪」であることが明らかになった大川原化工機事件では、警察や検察の捜査の違法性が明らかとなりました。「えん罪」の共通点は、警察や検察が作ったストーリーに合わせるための自白の強要や証拠の捏造です。私たち美世志会も同じ経験をしました。そして、いくら真実を訴えても裁判所が聞き入れることはなく、JR東日本会社からも懲戒解雇されました。現在相次いでいるJR東労組の仲間に対するJR東日本会社からの不当処分も、「えん罪」の構図と全く同じです。仲間の訴えを聞く度に真実を聞き入れられない悔しき、圧倒的な権力を持つ会社からの弾圧への怒り、そして仲間が立ち上がり闘い続ける思いも身に染みて感じます。不当処分と闘う仲間にも、私たち美世志会にも、真実を見極め、共に闘うJR総連・JR東労組の仲間と組織が存在します。私たち美世志会7名も、それぞれの任務を通じて、JR総連・JR東労組の組織強化・拡大を実現するために闘い続けます。

## 新年の「あいさつ」

青年部長 本田 隼

昨年は本部青年部が休止となり、青年連絡協議会に変更する大きな転換の年でした。その中でいかにして青年部運動を根底にして本部青年部再建を目指すのか模索し、新たに2名の仲間が加わった新体制で運動をスタートさせ「自分にとっての東労組」や青年部の存在意義、転換点について議論を重ねました。地本青年部が無くなれば、青年部員を置き去りにしてしまうことや、労働者としての感性を磨く機会を失うことに繋がることを考えています。これからも「よく遊び、よく学び、よくたたかう」ことを通じて組織強化・拡大を目指していきます。職場では、旧宇都宮運輸区の仲間に対するパワハラや旧大宮運輸区の仲間への不当転勤・不当処分、そして八王子地本では青年部員に対するパワハラや暴行、不当処分等、ハラスメント・不当処分等が続発しています。全ては会社姿勢の問題であり会社の意思が貫徹されていると感じます。私たちの行動無くして仲間や職場を守る事は出来ません。仲間と共にたたかい実践し、私たちの思い描く未来を創り上げましょう。私も自分と向き合いたたかいを創り出す決意を述べ新年の挨拶とします。

## カンテラ

先日仲間とカワハギ釣りに行った。カワハギは「餌泥棒」と呼ばれ難易度が高い。人間と同じで気温や気圧、潮の速さ、水温等で魚のコンディションも変わる。特性を様々研究するが、それでも釣れない時がある。そんな時こそ情報共有が重要で、仲間と協力し助け合いながら釣りをするのも醍醐味だ。仲間のアドバイスで続々と釣れ出して、終わってみれば全員楽しくカワハギを釣ることができた。魚の小さな当たりを感じ、魚をかけてからの独特なやり取りは釣り人を虜にする。そして魚と人間との駆け引きは一進一退で非常に奥深さがある。ただ単に釣りをするだけではなく相手も研究し、仲間内で協力し釣りをするのが楽しい。しかし、最近は頻りに釣りに行けなくなった。船代・道具等の多くが値上がりし、気軽なレジャーではなくなりつつある。釣りに限らず趣味を楽しむために物価上昇に負けないベースアップが必要だ。そして、趣味だけではなく生活水準を良くするためにどう春闘のたたかいを全職場から創り出し満額回答を勝ち取るう！

25春闘に勝利し、またカワハギ釣りを仲間と共に楽しみたい。(S.F)



**問題:**以下の各問題の□に入る漢字一文字を入れて四字熟語を完成させ、答えを番号順に並べ、下線部の文章を完成させて下さい

◆ **問題①**

□致**団結**

意味:(多くの人が心を一つにして協力し合い、共通の目的を達成するために集団や組織をつくること)

◆ **問題②**

波瀾□**丈**

意味:(変化が激しく劇的であるさま。波瀾はごたごた、もめごと。また、単調でなく複雑に変化すること)

◆ **問題③**

十□**十色**

意味:(好み・考え・性格等が、人によりそれぞれ違うこと)

JR東労組は①□②□③□組織をめざします!

**新年お年玉クイズ  
プレゼント応募券**

分会名 \_\_\_\_\_

組合員名 \_\_\_\_\_

応募者名 \_\_\_\_\_

続 柄 \_\_\_\_\_

**答え**

JR東労組は①□②□③□

**組織をめざします!**

**豪華 お年玉クイズプレゼント 商品一覧**

- ホテル聚楽ペア宿泊券 1組
- 豪華カタログギフト 3名
- 特選食品ギフトセット 6名
- すみっこ商店紬うどんセット 10名
- すみっこ商店人気商品セット 7名
- Amazonギフト券 10名
- 鉄道ファミリー特選ギフトセット 3名  
(鉄道ファミリー提供)

答えがわかった方はプレゼント応募券に必要な事項を記入し、2月7日(金)までに大宮地本までご持参またはご郵送下さい。

郵送の場合は応募券をハガキに貼付け、ご住所・電話番号をご記入下さい。

郵送先: 〒330-0853

埼玉県さいたま市大宮区錦町427

応募対象者: 組合員・OB組合員・家族(同居の場合のみ)

※一人一枚までの応募とさせていただきます

※コピーでの応募も可能です

プレゼントの抽選は2月12日に行い、当選者はOMIYA NEWSにて発表します。

**迎春**

鉄道ファミリーは組合と共に歩みます  
皆様をしっかりとサポートします

- ▶ がん保険・医療保険・介護保険
- ▶ 自動車保険・サークル保険
- ▶ JR積立年金・組合旗・組合バッヂ
- ▶ すみっこ商店

今年もよろしくお祈りします



JR総連・各単組賛助団体  
**(株)鉄道ファミリー**

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13

電話 JR 058-4114-5 NTT 03-3490-3862